

皮膚科

1. 概要

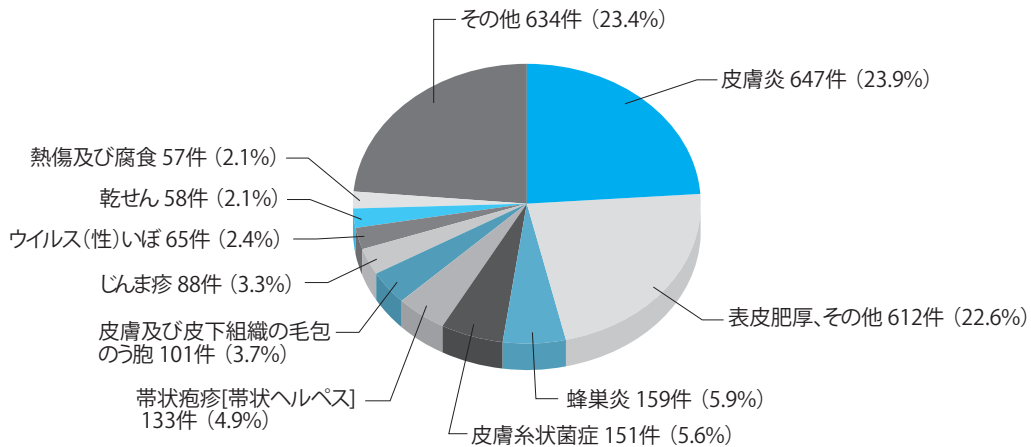
2016年の皮膚科は山田、鈴木、藤城、芳川、森の5人体制である。外来患者数は、前年より多少減少した。逆に入院患者数は、前年より多少増加した。外来では、切除不能な悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害剤の投与が増加した印象である。入院に関しては、広範囲の重症熱傷が例年に比べ多かった。

(部長 山田 元人)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

総数：2,705件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
皮膚炎	皮膚炎, 詳細不明	302	L309
	薬物及び薬剤による全身の発疹	70	L270
表皮肥厚、その他	皮膚乾燥症	293	L853
	皮膚の慢性潰瘍, 他に分類されないもの	89	L984
蜂巣炎	蜂巣炎, 詳細不明	109	L039
	(四)肢のその他の部位の蜂巣炎	32	L031
皮膚糸状菌症	爪白せん	61	B351
	足白せん	58	B353
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	帯状疱疹, 合併症を伴わないもの	112	B029
	帯状疱疹, その他の神経系合併症を伴うもの	20	B022
皮膚及び皮下組織の毛包のう胞	表皮のう胞	101	L720
じんま疹	じんま疹, 詳細不明	77	L509
	その他のじんま疹	11	L508
ウイルス(性)いぼ	ウイルス(性)いぼ	65	B07
乾せん	尋常性乾せん	40	L400
	掌蹠膿疱症	14	L403
熱傷及び腐食	部位不明の熱傷, 程度不明	53	T300

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,099人	年間外来新患者数	3,424人
年間入院患者数	4,904人	年間入院新患者数	267人

(2) 悪性新生物

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	基底細胞癌	61	5	皮膚腫瘍	6
2	有棘細胞癌	45	6	その他	23
3	悪性黒色腫	16		計	158
4	パジェット病	7			

(3) 良性腫瘍、熱傷、膠原病

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	良性腫瘍	1,048	5	全身性エリテマトーデス	10
2	熱傷	96	6	皮膚筋炎	6
3	血管炎	47		計	1,219
4	全身性強皮症	12			

学会発表（医局）

<皮膚科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	硬化性萎縮性苔癬より生じたと考えられた腔口部疣状癌の1例	筆頭演者	山田 元人	第32回日本皮膚悪性腫瘍学会	鹿児島市	2016/5/28
2	メルケル細胞癌の治療経験	筆頭演者	榊原 倫子	第32回日本皮膚悪性腫瘍学会	鹿児島市	2016/5/28
3	生体腎移植後免疫抑制患者で、脂漏性角化症と連続して生じた基底細胞癌の一例	筆頭演者	森 章一郎	第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会	大阪市	2016/10/22